学校番号	105

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	応用ペン習字						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで培った技術等を発展させ、作品制作に取り組みましょう。
・さまざまな書体の変遷を知った上で、現在使っている文字の良さも体感し、生活の中に文字を活かせるようになることを目指します。
・授業では、鑑賞を通して制作意図や技術を学習し、各単元・毎授業の取り組み方、作品やプリント課題の提出などにより評価を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書道の知識・技能を身につけた上で自己表現に活かす。
【思考力、判断力、表現力等】
書写能力を高め、表現と鑑賞の能力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
書道の幅広い活動を通して、自ら学ぶ力を育成するとともに、書を愛好する心情を育て感性を豊かにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした書表現をするために必要な書技を身につけ、創造的かつ主体的に表現している。	書を形成する要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、古典臨書、創作の書表現を工夫し、どのように表現するか。	書や文字文化に関心を持ち、書の文化や伝統について理解 を深めようとしている。古典の学習を通じて、主体的に鑑賞活動を行い、その喜びを味わおうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	仮名の学習	仮名の基本用筆 ・仮名の古典を学ぶ 「高野切第一種」 「寸松庵色紙」 「関戸本古今和歌集」 ・変体仮名 小テスト	a:線質や字形、紙面構成の特徴を理解し、書風を生かして表現ができる。 b:古典の線質を理解し、筆の呼吸を生かした表現を工夫している。 c:仮名の書の変遷に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組んでいる。	制作レポート 提出作品	制作レポート 提出作品	参加状況 制作レポート 提出作品
	ペン字	・応用ペン習字 ・暑中見舞い	a:美しく正確に書いている。 b:文字の性質、書く状況を理解し正確に書いている。 c:実用的な書として実生活に役立つように興味・関心を持って取り組んでいる。			
	隷書の学習	・隷書の基本用筆 ・隷書の古典 「曹全碑」 「乙瑛碑」	a:古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現ができる。 b:古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c:隷書の字形や用筆の特徴に関心をもっている。			
二学期	刻字	・原稿づくり ・彫刻 ・着色	a:意図に応じた表現を構想し、古典の字形や用筆等を参考に個性的な表現をすることができる。 b:意図に応じた表現を構想し、古典の字形や用筆等を参考に個性的な表現を工夫している。 c:刻字に関心をもち、様々な古典の書風や特徴を取り入れて作品制作しようとしている。	制作レポート 提出作品	制作レポート 提出作品	参加状況 制作レポート 提出作品

三学期	漢字仮名交じりの書	・半切1/2 作品制作	a:漢字仮名交じり書を書く上で必要な書技術を身につているか。 b:漢字仮名交じり書を形成する要素を知覚しながら、制作しているか。 c:題材に関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしているか。	制作レポート 提出作品	制作レポート 提出作品	参加状況 制作レポート 提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度